
第 71 回数理社会学会大会 (JAMS71) プログラム (大会前確定版)

日時：2021 年 9 月 4 日 (土) ~9 月 5 日 (日)

会場：オンライン (Zoom)

大会委員長：鈴木伸生 (岩手県立大学)

1 参加費：

一般 (会員) 無料 学生・院生 (会員) 無料
一般 (非会員) 5,000 円 学生・院生 (非会員) 2,000 円

2 懇親会：オンライン上での懇親会を念頭に置いているため、会費はかかりません。

3 参加登録

- ・ 以下の URL に参加登録をお願いします。
- ・ 非会員の方は事前登録の上参加費を納めることで学会大会に参加していただけます。非会員 (非登壇者) の参加登録の締め切りは **2021 年 8 月 21 日 (土)** です。参加登録をされた方に振り込み案内メールをお送りしますので、振り込みをお願いします。振り込みの締め切りは **2021 年 8 月 28 日 (土)** です。

【非会員の非登壇者用】参加登録申し込みフォーム：<https://forms.gle/zAFE2CbwCuwcwCKo6>

- ・ 会員の方も参加人数の事前把握のために、参加予定の方は事前登録をお願いします。参加登録の締め切りは **2021 年 8 月 28 日 (土)** です。

【会員用】参加登録申し込みフォーム：<https://forms.gle/B1cQkGrRJ2fqLx3RA>

4 参加方法

- ・ 参加登録済みの方々に対して、事前に Zoom の招待メールを登録メールアドレスにお送りします。
- ・ 会員向けには、会員メーリングリストでも Zoom の招待情報をお送りします。
- ・ 参加方法の詳細と当日の注意点についても招待メールと同時に お送りします。

5 主なスケジュール

| | 時間 | Zoom 1 |
|------|-------------|-------------------------------------|
| 9月3日 | 15:00～17:00 | ワンステップアップ・セミナー |
| 9月4日 | 9:30～10:45 | 自由報告 I (第 1 部会) / 自由報告 I (第 2 部会) |
| | 11:00～12:15 | 自由報告 II (第 3 部会) / 自由報告 II (第 4 部会) |
| | 12:15～13:15 | 昼食休憩 |
| | 13:15～14:45 | 萌芽的セッション I |
| | 15:15～16:00 | 会長講演 |
| | 16:15～17:15 | 総会 (会員のみ) |
| | 17:30～18:30 | 懇親会 |
| 9月5日 | 9:30～11:00 | 萌芽的セッション II |
| | 11:10～12:25 | 自由報告 III (第 5 部会) |
| | 13:30～15:30 | シンポジウム |

6 口頭報告者へのお願い (自由報告)

- ・ 報告 15 分, 討論 10 分です。
- ・ Zoom セッションにて画面共有機能を用いてスライド等を提示して発表することができます。
- ・ 当日配付資料は事前に提出いただきますと大会用オンラインストレージで共有することが可能です (提出方法については報告者に別途連絡します)。
- ・ (司会者の方々へ) 部会開始 5 分前に集合ください。報告 12 分で 1 鈴, 15 分 2 鈴, 25 分 3 鈴を鳴らします。

7 萌芽的セッション報告者へのお願い (萌芽的セッション報告)

- ・ ポスター等の報告資料を, 学会大会の概ね一週間前に提出してもらい, 大会期間中会員のみで大会用オンラインストレージにて公開します。報告資料は最大 A0 判のポスターに準じた情報量を目安とします。
- ・ また, ポスター等の報告資料に基づいて, セッションの割り当てられた時間帯に Zoom のブレイクアウトルームにて発表をしていただきます。
- ・ 報告資料の提出方法ならびに Zoom のブレイクアウトルームに関する情報については報告者に別途連絡します。

8 問い合わせ先

研究事務局 〒980-0845 宮城県仙台市 青葉区川内 27-1

東北大学大学院文学研究科 瀧川 裕貴

E-mail: jams.research[at]gmail.com

大会開催校 〒020-0693 岩手県滝沢市菓子 152-52

岩手県立大学 総合政策学部 鈴木 伸生

E-mail: jams.meeting71[at]gmail.com (一般的な問い合わせ)

9月3日(金)

| | | |
|-------------|----------------|------|
| 11:00~12:30 | 研究活動委員会 | Zoom |
| 13:30~15:00 | 編集委員会 | Zoom |
| 15:00~17:00 | ワンステップアップ・セミナー | Zoom |
| 17:00~19:00 | 理事会 | Zoom |

9月4日(土)

09:00 開場

09:25 開会挨拶 大会委員長 鈴木 伸生 Zoom 1

09:30~10:45 自由報告 I

【第1部会】 数理

Zoom 1 (ブレイクアウトルーム 1)

司会 濱本真一 (立教大学)

| | | |
|---|--|---|
| 1 | 二地域居住時代における社会的孤立: エージェント・ベース・シミュレーションによる分析 | 堀内史朗 (阪南大学) |
| 2 | 授業内の発問に対する学生行動 - ABM に基づいて - | ○康凱翔 (広島大学高等教育研究開発センター) 樊怡舟 (広島大学高等教育研究開発センター) |
| 3 | 美的消費行動の数理的研究 | 井原悠至 (同志社大学大学院経済学研究科) |

【第2部会】 階層

Zoom 1 (ブレイクアウトルーム 2)

司会 打越文弥 (プリンストン大学)

| | | |
|---|--|------------------------------|
| 1 | 高学歴化は大学の平等化機能を弱めるのか: 大卒/非大卒における出身階層の直接効果の趨勢 | ○麦山亮太 (学習院大学) 豊永耕平 (立教大学) |
| 2 | 父方母方を考慮した祖父母学歴が孫学歴に及ぼす影響 - 多重代入法による構造方程式モデルをもちいて - | 石橋拳 (専修大学大学院) |
| 3 | 中学生の将来像における世襲志向 - 家庭の親密な関係に着目して - | 三輪卓見 (東京大学大学院) |

****休憩 (15分) ****

11:00~12:15 自由報告 II

【第3部会】 数理と方法

Zoom 1 (ブレイクアウトルーム 1)

司会 前田豊 (信州大学)

| | | |
|---|-------------------------------------|---|
| 1 | 有意抽出時の標本誤差とサンプルサイズ、母分散の関係 | 太郎丸博 (京都大学) |
| 2 | A Model of Income Evaluation | 石田淳 (関西学院大学) |
| 3 | 被災時の被援助経験が利他行動に与える効果：自然実験を利用した因果的分析 | ○大林真也 (青山学院大学) 稲葉美里 (近畿大学) 大平哲史 (青山学院大学) 清成透子 (青山学院大学) |

【第4部会】 労働と教育

Zoom 1 (ブレイクアウトルーム 2)

司会 神林博史 (東北学院大学)

| | | |
|---|-----------------------------------|--|
| 1 | 職業生活と働き方の男女差—性別職域分離に注目した労働時間の要因分解 | 田上皓大 (慶應義塾大学大学院) |
| 2 | 有期雇用化を促す要因—産業特性に注目して— | 長松奈美江 (関西学院大学) |
| 3 | 短期留学プログラムの効果について—成績表データを活用して— | ○樊怡舟 (広島大学スーパーグローバル大学創生支援事業データ分析チーム) 中尾走 (広島大学スーパーグローバル大学創生支援事業データ分析チーム) 西谷元 (広島大学スーパーグローバル大学創生支援事業データ分析チーム) 村澤昌崇 (広島大学スーパーグローバル大学創生支援事業データ分析チーム) |

****昼食休憩 (60分) ****

| | | |
|----|--|--|
| 1 | Maximization と結婚 ——初婚年齢と配偶者の質を対象にした検討—— | 石黒格 (立教大学) |
| 2 | Why Do Few Women Apply to Selective Colleges in Japan?: Explaining Horizontal Gender Stratification in Higher Education | 打越文弥 (プリンストン大学) |
| 3 | 既婚女性の就業行動が世帯間所得不平等に与える影響 ——第1子出生に着目した縦断的アプローチ—— | 木村裕貴 (東京大学大学院) |
| 4 | コンジョイント調査における回答パターンとサティスファイン グ | ○稲垣佑典 (総務省統計局/ 統計数理研究所) 加藤直子 (データサイエ ンス共同利用基盤施設/ 統計数理研究所) 前田忠彦 (データサイエ ンス共同利用基盤施設/ 統計数理研究所) |
| 5 | ワクチン分配の職業別優先度に関する評定の予測 ——意味空間モデル (word embedding) を用いた探索的研究—— | ○上島淳史 (東北大学大学 院、日本学術振興会) 瀧川裕貴 (東北大学大学院) |
| 6 | パネル調査を用いた日本の再婚に関する基礎分析 | ○池田岳大 (名古屋大学) |
| 7 | 地域移動の規定要因——東大社研パネル調査による分析—— | ○石田浩 (東京大学) 大久保将貴 (東京大学) 米倉佑貴 (聖路加国際大学) |
| 8 | Board Interlock Network, Shareholder Network, and Corporate Performance in Japanese firms | ○藤山英樹 (獨協大学) 平井岳哉 (獨協大学) |
| 9 | 機械学習の適用による調査現場での自由回答追加情報収集支援シ ステム | ○高橋和子 (敬愛大学) 奥村学 (東京工業大学) 鈴木泰山 ((株)ピコラボ) 清家大嗣 (東京大学) |
| 10 | 子どもの通塾に対する母親の就業の影響 | 鎌田健太郎 (東京大学大学 院教育学研究科) |
| 11 | 所得格差の受容と正当化に関する実証研究(1)——適正所得・推定 所得・確信度—— | 有田伸 (東京大学) ○神林博史 (東北学院大学) 竹ノ下弘久 (慶應義塾大学) |
| 12 | 所得格差の受容と正当化に関する実証研究(2)——ジェンダー・学 歴・職業—— | 永吉希久子 (東京大学) ○多喜弘文 (法政大学) 吉田崇 (静岡大学) |
| 13 | 専攻分野選択のジェンダー差と理数系教科選好 | 豊永耕平 (立教大学) |

****休憩 (30分) ****

15:15～16:00 会長講演

Zoom 1

「なぜ数理モデルが必要か」

数理社会学会会長 浜田宏（東北大学）

****休憩（15分）****

16:15～17:15 総会

Zoom 1

****休憩（15分）****

17:30～18:30 懇親会

Zoom 1

9月5日（日）

09:00 開場

09:30～11:00 萌芽的セッション II

Zoom 1

| | | |
|---|--|--|
| 1 | 訪問面接調査における地点特性と調査員特性が回収状況に与える影響 | 前田忠彦（統計数理研究所） |
| 2 | ライフイベントと幸福度の変化——量的・質的データの分析—— | 金井雅之（専修大学） |
| 3 | 高校生の進路分化に対するトラッキング効果は地域で異なるか | 田垣内義浩（東京大学大学院） |
| 4 | 地域課題解決のための市民参加型データサイエンス活用の試み | 原田豊（立正大学データサイエンス学部） |
| 5 | 家庭教育にみられるジェンダー構造——ふだんの生活に着目して—— | ○戸高南帆（東京大学大学院教育学研究科） 三輪哲（東京大学社会科学研究所） |
| 6 | 全会一致ルールが用いられる場合の情報収集コストを伴う判断の集計 | 関口卓也（理化学研究所） |
| 7 | SSM 職業分類と日本版 O-NET のマッチングとその応用——賃金と健康との関連に着目して—— | ○麦山亮太（学習院大学） 田上皓大（慶應義塾大学） |
| 8 | 企業は母親を雇用差別しているか——コンジョイント実験による検証—— | ○森川ゆり子（東北大学） 瀧川裕貴（東北大学） |
| 9 | 日本留学の動機はなにか——外国人留学生への量的調査の分析—— | 森田厚（成蹊大学大学院） |

| | | |
|----|---|------------------|
| 10 | 項目スキームに対応したダミー・コーディングとマルチレベル分析 ——平等化政策への支持態度に関する規定要因の分析を例に—— | 林拓也（奈良女子大学人文科学系） |
| 11 | 前向きアプローチをもちいた第二次世界大戦前の出生コーホートにおける学歴再生産研究 | 石橋拳（専修大学大学院） |
| 12 | 教育投資行動の数理モデルによる表現——社会学・経済学双方の視点から—— | 北村友宏（慶應義塾大学大学院） |
| 13 | IAT 実験を用いたウェブ調査による韓国人に対する潜在的／顕在的偏見の検証 ※報告取り下げ | 永吉希久子（東京大学） |

****休憩（10分）****

11:10～12:25 自由報告 III

【第5部会】 移民と幸福感

Zoom 1

司会 永吉希久子（東京大学）

| | | |
|---|---|---|
| 1 | イスラム教国におけるムスリム移民に対する態度—カザフスタンにおけるコンジョイント分析— | 東島雅昌（東北大学） ○五十嵐彰（立教大学） ユジンウ（東北大学） |
| 2 | 政治への不信感と反移民意識の関連の検証：交差遅延モデルによる分析 | 下窪拓也（新潟医療福祉大学健康科学部） |
| 3 | 貧困と幸福感のねじれ：モンゴル社会を事例とした、主観的メカニズムの混合研究法分析 | ○小林盾（成蹊大学） Dolgion Aldar（モンゴル独立研究所） |

13:30～15:30 大会校企画シンポジウム

Zoom 1

「継続的地域調査からみる震災被災地 10 年のあゆみ：岩手県大船渡市を対象として」

オーガナイザー・司会：金澤悠介（立命館大学）

登壇者とテーマ：

| | | |
|---|------------------------------------|--------------|
| 1 | 岩手県大船渡市における復興に関する調査プロジェクトの 10 年（仮） | 阿部晃士（山形大学） |
| 2 | 津波被災地の住民意識調査における復興政策の評価とその変遷（仮） | 堀籠義裕（岩手県立大学） |
| 3 | パネル調査から見る住民の生活と社会関係の変化（仮） | 金澤悠介（立命館大学） |
| 4 | 質的調査から見えてきた復興過程における課題と住民対応（仮） | 平井勇介（岩手県立大学） |

(備考)

1. ○印は登壇者を示します。E は英語による報告です。The E symbol stands for English presentations.
2. Zoom ミーティング招待情報, 大会用オンラインストレージへのアクセス情報は, 大会直前に登録メールアドレスならびに会員メーリングリストにて告知します。
3. ワンステップアップ・セミナー参加(無料)には申し込みが必要です。詳細はセミナー案内をご覧ください。

(変更履歴)

2021年7月14日 暫定版プログラム
2021年7月15日 暫定版プログラム修正
2021年7月28日 暫定版プログラム修正
2021年8月13日 確定版プログラム
2021年8月29日 確定版プログラム修正
2021年9月4日 確定版プログラム修正